

## 公益財団法人香雪美術館からのお知らせ

### 香雪美術館館長に蓑豊氏が就任

公益財団法人香雪美術館（神戸市東灘区御影郡家、秋山耿太郎＝あきやま・こうたろう＝理事長）の館長に 2023 年 9 月 1 日付で兵庫県立美術館名誉館長の蓑豊（みの・ゆたか）氏が就任します。

蓑氏は、慶應義塾大学で美術史を専攻した後、カナダ・ロイヤルオンタリオ博物館の学芸員などを経て、ハーバード大学大学院で博士号を取得。「東大寺秘宝展」などを企画したシカゴ美術館では東洋部長を務め、帰国後の 1996 年に大阪市立美術館館長に就任しました。その後、金沢 21 世紀美術館の館長などを歴任、2010 年 4 月から今年 3 月末まで兵庫県立美術館の館長を務めました。新設の金沢 21 世紀美術館では初代館長として、金沢市内の全小中学生を同館に招待するなどユニークな企画を数多く打ち出し、1 年で 150 万人を超す入館者数を達成しました。兵庫県立美術館でも、同館を起点に周辺の文化施設を結ぶ道を「ミュージアムロード」と名付け、最寄りの阪神電車岩屋駅の駅名に「兵庫県立美術館前」と加えるなど知名度を向上させ、同館屋上にシンボルオブジェ「美かえる」を設置するなど、地域との連携に尽力し、人気の美術館となりました。

香雪美術館は、朝日新聞社の創業者・村山龍平（むらやま・りょうへい）が収集した日本、東洋の古美術コレクションなどを収蔵、展示する美術館として 1973

年に神戸・御影で開館しました。2700 点を超す所蔵品には重要文化財 19 点、重要美術品 33 点があり、仏教美術、書跡、近世絵画から茶道具、漆工芸、武具など、幅広いジャンルにわたっています。また、御影の敷地内にある「旧村山家住宅」は、明治、大正期の貴重な建築として 2011 年（平成 23 年）に国の重要文化財に指定されました。

2018 年（平成 30 年）には大阪市北区に 2 館目の展示施設として中之島香雪美術館を開設し、展覧会を開催中です。御影では、施設老朽化のため美術館の建て替えや庭園の整備を計画しており、現在は休館中です。

蓑氏は「中之島では、美術館が 4 館も集まる文化の集積地という特性を活かして、より多くの人が集まる展覧会を開催していきたい。建て替え計画のある御影についても、庭園や伝統建築を一体として公開し、地域の方々に愛される美術館を目指していきたい」と抱負を語っています。